

かき落とし仕上げ 施工の手引き

適用品番

ジヨリパット材 JQ-650 シリーズ

ジヨリパット材ノンフリーズ JQW-650 シリーズ

平成18年 6月【初版】

平成23年11月【改訂】

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

<かき落とし仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-560	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1' JS-410の場合

配 合	JS-410	15kg
塗布量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1" JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

2. 主材 下吹き

配 合	JQ(W)-650シリーズ	20kg
	清 水	3~4割
塗布量	1.0kg/m ²	
吹圧力	5~7kgf/cm ²	
施工道具	リシンガン 口径φ4~6mm	

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

◎完全に乾燥したことを確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 上吹き

配 合	JQ(W)-650シリーズ	20kg
	寒水石 3厘	14kg
	寒水石 7厘	6kg
	清 水	2.5~3割
塗布量	約2.0kg/m ²	
吹圧力	4~6kgf/cm ²	
施工道具	スタッコガン 口径φ8mm スタッコガンにて粒状に詰めて吹く。	

追いかけ (5分以内)

4. パターン付け

- ・ スチロールゴテを縦方向に動かし、部分的に寒水石が転がった跡をつける。(図-1)

追いかけ (5分以内)

5. ヘッドカット (押さえ)

- ・ ヘッドカットローラーJR-26 (平面用) や JR-27 (入隅用) を灯油に充分浸してから、カットローラーを上から下へ転がし、押える。

< 施工のポイント >

- ・ スチロールゴテを縦方向に動かし、寒水石の7厘が転がるよう、パターンをつける(図-1)。
(塗布量が多いと骨材が転がりにくい。)
- ・ スチロールゴテの裏面は、ブラシや濡れウエスなどで常に、きれいに保つこと。
(汚いと寒水石が転がりにくくなり、パターンが出にくくなります。)
- ・ 寒水石7厘が10cm程度、転がるようにパターン付けする。
一回で寒水石が転がらない場合は、何回も縦方向にスチロールゴテを動かし、寒水石を転がす。
- ・ 塗り継ぎは、ちどり状に行い、一箇所に集中しないように注意する。

JQ (W) 650-24-01
(JQ (W) -650 かき落とし)

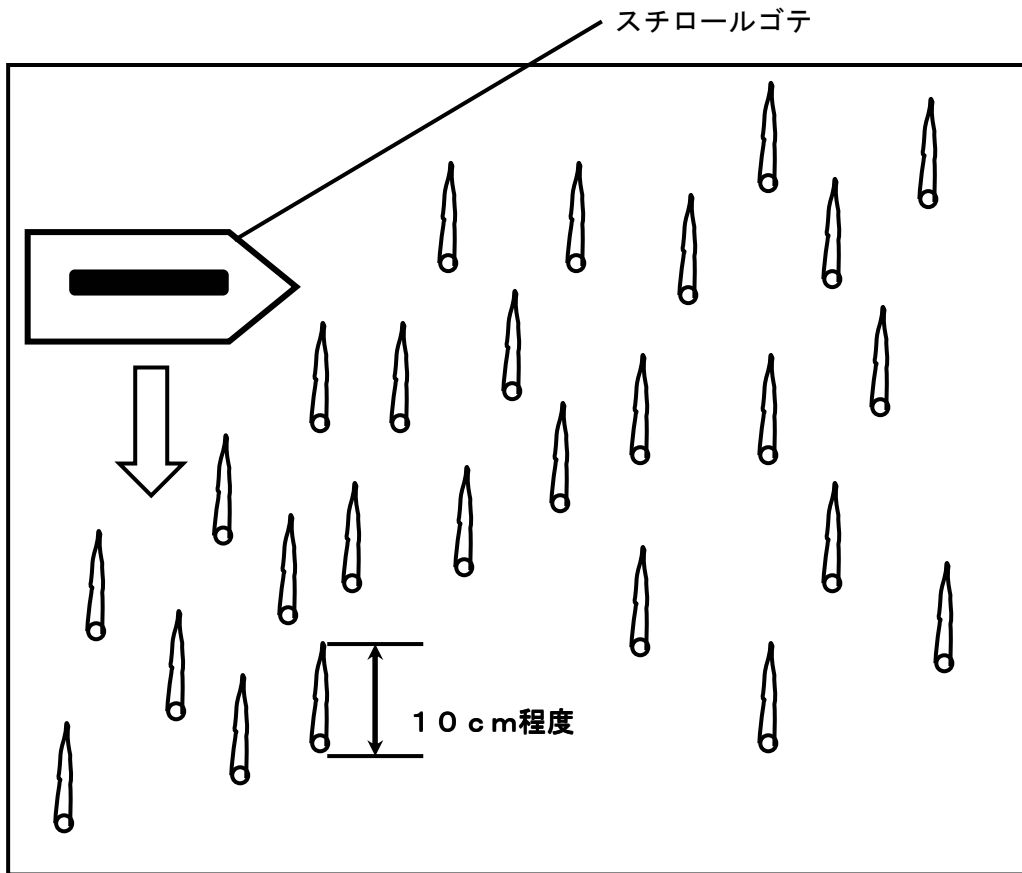


図 - 1

<施工の注意事項>

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し吹きを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ JQ-650 を使用される場合、気温 5℃以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 冬季の 5℃以下での施工の際は、ジョリパットノンフリーズ JQW-650 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS-410 をご使用下さい。
しかしながら、-6℃以下、降雨、降雪などの条件下では JQW-650 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上